

梅雨時期前合同のり面点検に同行しました！

令和6年6月4日



岡山国道事務所では、平成8年度に発刊された点検要領をもとに、道路の自然災害を予防するために豪雨や豪雪、地震等の自然災害による危険箇所の点検「道路防災点検」を行っています。

これまでの点検結果を踏まえ対策や監視が必要な箇所については、「**防災カルテ**」を作成し、定期的、継続的に点検を実施しています。

今回は、本格的な梅雨のシーズンを前に、年に1回行っている**道路のり面※**の**梅雨時期前点検**に参加しました。点検には事務所の若手職員も一緒に参加しました。

※「のり面」とは、道路の沿道の斜面のことです。

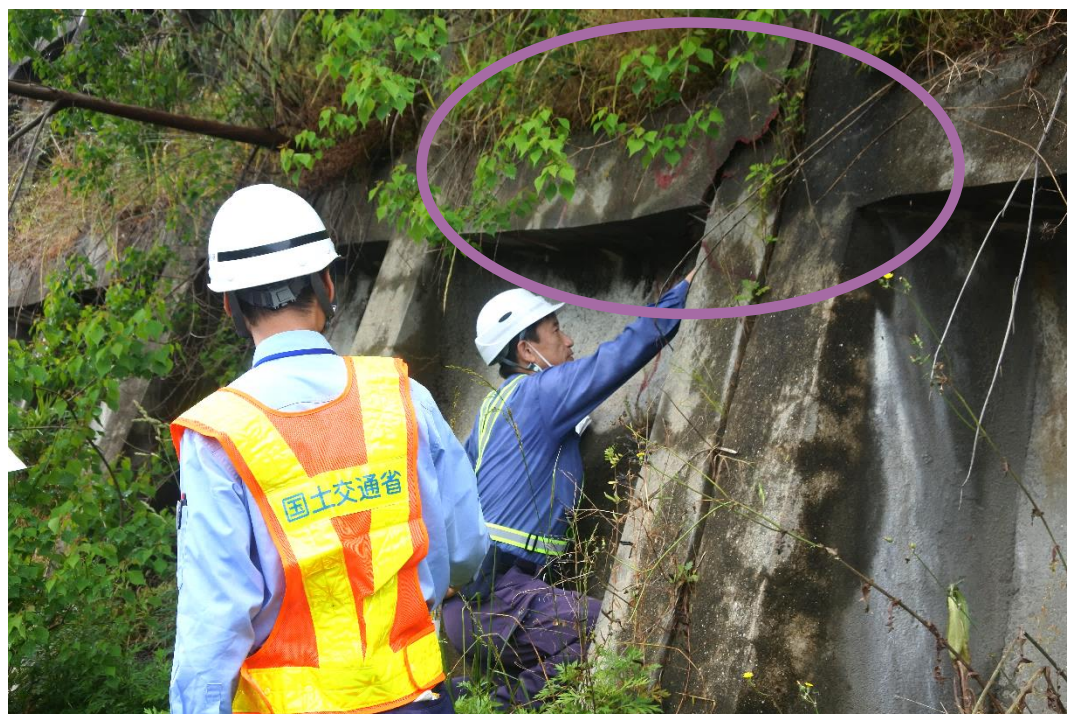
点検したこと

- ・ のり面の異状がないか
- ・ ブロック積み擁壁の排水施設に詰まりがないか
- ・ 道路側溝の詰まりがないか
- ・ 落石防護ネットのネジに緩みがないか などなど





要経過観察箇所の点検の様子です。



枠で囲った部分のコンクリートにひび割れがあることから、前回点検時よりひび割れが大きくなっていないか測っています。

今回の点検では、前回から特に変化はありませんでした。



点検では、離れた場所の作業員が持っているカメラからの映像を、下で点検している作業員がモニターで確認する場面もありました。



その他にも、長い棒の先端にカメラを取り付けたもので、高い場所や側溝の中など離れた場所の確認も行っていました。

カメラの映像は腕時計の様に腕に取り付けたモニターで確認していました。



写真では写っていませんが、擁壁をハンマーで叩いて空洞がないかも確認しています。

のり面に異状がないか確認している様子です。



ブロック積み擁壁の排水施設に詰まりがないか確認しています。



道路側溝に詰まりがないか確認しています。今回は少し詰まっている箇所が確認されたため、梅雨に向けて清掃を行います。



小話

点検で使用している赤白の棒は、全長約2m程で、赤と白の部分が約20cmで交互に色分けされていて、大まかに深さなどを測ることができます。





この印の線がずれていると
ネジが緩んでいる可能性
があります。

落石防護ネットのネジに緩みがないか点検しています。
ネジは緩みが分かりやすいように印が付けられていました。



落石がないか上からも確認しています。



ドローン

モニター

点検ではドローンを使用して、上空から道路のり面全体の確認も行っていました。

ドローンの映像は手前のモニターで確認しています。



ドローン



向かって右側の方がドローンを操縦し、左側の方がドローンに搭載されたカメラを操作して点検を行っていました。



今回の点検箇所以外にも、岡山県内の直轄国道沿い約30箇所では梅雨時期前点検を行っています。

記事作成：計画課 A